電子情報通信工学専攻 平成 25 年度

電子情報通信工学専攻 平成 25 年度								
科目名	情報ネットワーク論 Information Networks			担当教員	高城秀之			
学 年	1年	学期	後期	履修条件	選択	単位数	2	
分 野	 専門	授業形式	講義	科目番号	13273005	単位区別	学修	
学習目標	ネットワークを利力	用した通信の仕組		モデルを用いて	本系的に理解す			
進め方	実際のアプリケーション層プロトコルの実装方法について理解する。 前半は、OSI 参照モデルを用いてインターネットの全体像を説明すると共に、日頃使用している各種ネットワークアプリケーションが、TCP/IP という基盤の上に構築された様々なアプリケーションプロトコルの実装であることを講義する。後半では、馴染みの深い電子メールを題材に、アプリケーションプロトコルの実例ならびにその実装方法を学ぶ。実装に当たっては、インターネットとの親和性が高く、豊富なネットワーククラスライブラリを持つJava 言語を用いる。 学習項目(時間数) 学習到達目標							
_	1. インターネット概説 (12)			インター	インターネットの全体像を理解する D2:1-3			
	(1) ネットワークの歴史(2) OSI 参照モデル(3) TCP/IP(4) IPアドレス				OSI 参照モデルと TCP/IP の概要を理解する D2:1-3 IP アドレスの役割を理解する			
	(5) インターネット上の各種サービス (6) ネットワークアプリケーション			IP) NV	17 / トレハッグ文音でを 2年/2年 y る D2:1-3			
学習内容				にはどの	インターネット上で使われるアプリケーションソフト にはどのようなものがあるかを知ると共に、そのソフ トの動作の仕組みを理解する。 D2:1-3			
	 Java プログラミングの基礎 (6) (1) Java の特徴 (2) オブジェクト指向プログラミング 			Java 言語	言語の基礎を理解する D2:1,2			
	 ネットワークプログラムの基本原理 (6) (1) ソケット (2) E-mail の仕組み (3) TELNET, POP, HTTP 			ネットワ・	ネットワークプログラムの基本原理について理解する D2:1-3			
	4. プロトコルの実装 (6)(1) POPの概要(2) Java による POPの実装				POPプロトコルの内容を理解する D3:1,2, E2:1			
				Java による	る POP ブロトコ	ルの実装を理解す	E3:1-3	
-	期末試験							
	5. 試験問題の解答	^(*) (2)						
評価方法	定期試験 85%, レポート 15%の比率で評価する。							
履修要件	特になし。							
関連科目	グラフ理論(1年) \rightarrow 情報ネットワーク論(1年) \rightarrow 応用ネットワークプログラミング(2年)							
教 材	教科書: 小高知宏 著 「TCP/IP Java ネットワークプログラミング(第2版)」 オーム社							
備考	オフィスアワー:毎月曜日放課後~17:00							